

北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

委員一覧 (20名)

委員長	森	ゆうこ (民主)	北川	イッセイ (自民)	広野	ただし (民主)
理事	白	眞勲 (民主)	末松	信介 (自民)	柳田	稔 (民主)
理事	林	久美子 (民主)	田中	直紀 (自民)	風間	昶 (公明)
	岡田	直樹 (自民)	藤井	基之 (自民)	木庭	健太郎 (公明)
	景山	俊太郎 (自民)	松山	政司 (自民)	緒方	靖夫 (共産)
	河合	常則 (自民)	今泉	昭 (民主)	後藤	博子 (国日)
	岸	宏一 (自民)	工藤	聖太郎 (民主)		(18.9.28 現在)

(1) 審議概観

第165回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

安倍内閣では、拉致問題の解決を我が国の最重要課題として取り組むこととされ、9月29日、安倍総理を本部長とし、塩崎拉致問題担当大臣（内閣官房長官）を副本部長として、拉致問題に関する総合的な対策を推進するため、すべての国務大臣が参加する拉致問題対策本部が設置された。

11月30日、北朝鮮をめぐる最近の状況について麻生外務大臣から、拉致問題をめぐる現状について塩崎国務大臣からそれぞれ報告を聴取した。麻生外務大臣は、北朝鮮が核実験を実施したことを受け、すべての北朝鮮船籍の船舶の入港禁止及び北朝鮮からのすべての物品の輸入禁止を含む我が国独自の措置を実施したこと、また、国連安保理決議第1718号の実施の一環として奢侈品の輸出禁止等の措置を実施したこと等を報告し、「対話と圧力」との一貫した考え方の下、拉致、核、ミサイルの諸懸案の包括的解決に向け、国際社会と連携して取り組んでいく決意を表明した。塩崎国務大臣は、新たな拉致被害者として松本京子氏を認定したこと、また、拉致問題対策本部において、北朝鮮側に対しすべての拉致被害者の安全確保、即時帰国、真相究明及び拉致実行犯の引渡しを求めること等の6項目から成る方針を決定したこと等を報告し、拉致問題の解決に向け全力で取り組んでいくとの決意を表明した。

(2) 委員会経過

○平成18年9月28日（木）（第1回）

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成18年11月30日（木）（第2回）

○理事を選任した。

- 北朝鮮をめぐる最近の状況に関する件及び拉致問題をめぐる現状に関する件について麻生外務大臣及び塩崎国務大臣からそれぞれ報告を聴いた。

○平成18年12月13日（水）（第3回）

- 北朝鮮による拉致問題等に関しての対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。